


※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	オオツカヒロシ			
氏名	大塚 宏			
派遣希望区	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> ( ) 区			
支援専門分野（注1）		支援専門分野の内容		
ルール又はプランづくり等	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域まちづくりプラン ●地域まちづくりルール</li> <li>●地区計画 ●建築協定 景観計画 景観協定</li> <li>●まち普請事業 ●その他地域のまちづくりに関する計画（地域緑のまちづくり、都市マスタープラン）</li> </ul>		
市街地開発事業等	<input type="radio"/>	●土地区画整理事業 市街地再開発事業		
防災まちづくり等	<input type="radio"/>	横浜市の制度を活用した地震火災対策 ●防災マップの作成・活用 多世代向け防災イベントの企画・運営 ●密集市街地の改善		
その他得意とする分野（複数選択可）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等） 防犯 ●水・緑・環境</li> <li>●歴史・文化・アート ●空き家・空き地の利活用 商店街活性化</li> <li>狭あい道路整備 耐震改修 共同建替 ●コミュニティの再生</li> <li>地域の活動拠点運営 地域公共交通 ICT・WEBの活用</li> <li>その他（まちづくりコーディネーターの養成）</li> </ul>			
支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 * 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。（200文字以内かつ9行以内）
	ルール又はプランづくり（地域緑）	泉区緑園都市戸塚区東山	令和2年 令和3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境創造局の地域緑のまちづくり事業</li> <li>・助成金取得のための計画策定（一次・二次提案：現地調査、地域構造の把握、緑化プランの作成、団体運営、関係機関協議、等に関する支援）と、市と団体の協定締結を支援しました。</li> </ul>
	（地域のマスタープランとまちづくりのプログラム）	鶴見区全域	平成11年から 14年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画法に基づく都市マスタープラン区プランの作成にあたり、テーマ別、地域別の住民等懇談会を複数回開催・運営して意見を集約し、テーマ別プラン、地域別プランの策定に反映させ、地域プロジェクトの推進方針を定めてモデルプロジェクトの推進を支援しました。</li> <li>・地域別プランは、直後に検討開始が予定されていた地域別保健福祉計画策定の母体となるように準備し、行政内連携を支援しました。</li> </ul>
	市街地開発事業等（土地区画整理事業）	戸塚区戸塚町/吉田町/矢部町	平成14年～18年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区域内の権利者と事業主体の懇談会を設置・運営し、意思疎通をよくすることに努めました。</li> <li>・工事中に一時移転を余儀なくさせられる商店主が沿道型商業の継続ができるように配置した仮設店舗に地域活動団体の活動場所の確保を行いました。</li> </ul>

（注意）支援専門分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等及びまちづくり支援団体の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。 要綱様式第1号-2

※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支 援 専 門 分 野 に 関 す る 支 援 の 実 績 等	支援専門分野 の内容・支援 可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。（200文字以内かつ9行以内）
	その他 (団地再生)	戸塚区俣野町	平成3年から現在	・建設後50年近く経過した集合住宅団地の生活の質を維持し高める拠点施設の基本計画の取りまとめを支援しました。 ・安心して住み続けられるための課題解決方策を検討する「終の住処研究会」の運営を支援しています。
	(まちづくり コーディネーター養成)	泉区緑園都市	平成28年～令和7年	・大学が立地する地域において、学生が地域まちづくりの担い手として活動するきっかけを考える授業を行いました。鉄道会社と行政が郊外住宅地再生として取り組む地域イベントと関連させ、学生と住民と企業等が協働するきっかけとなるようにしました。
	(歴史・アート・文化)	栄区	平成20年から現在	・総合アートフェスティバル、商店街を舞台としたアーティストと商店主の協働、福祉作業所とアーティストの協働、公共の文化施設と協働して行う作品展などの企画、ティーンエイジャーの作品展示や創作舞台などの企画を、関係団体や公共施設等と連携して実施しています。
	(空き家・空き地の活用)	栄区	令和元年～3年	・公共施設の地下にある、サンクンガーデンに面したカフェスペースの運営を施設管理者、区内のレストランと協働して運営しました。 ・区内の活動者と協働し、ギャラリーでの作品展示やワークショップ等を行いました。
	(コミュニティの再生)	栄区	令和3年～現在	・集合住宅団地の自治会のマネージャー（副会長）として、住民が互いに支え合う関係（緊急時要援護者支援システム）の構築、住民が協働して行う環境創造活動（地域緑のまちづくり）をコーディネートしています。

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）

・地域まちづくりは、そのまちの自然基盤を理解し、歴史的な発展経緯をふまえ、将来にわたって変化する可能性を大切にしながら、個性を発見し、育てることだと思います。多種多様な活動主体が、立場の違いを超えて、共通に掲げた目標に向かって協働して取り組むことが求められます。

・地域まちづくりのコーディネーターの役割は、その際に、まちを俯瞰的に捉え、時間的な変化を見通し、関係者が互いの強みを発揮して成果を産むために、みずからは固定的な位置に止まらず、縦横無尽に協働のフィールドを駆け回る存在であり続けることだと思います。

・自分自身が暮らす横浜において私は、生活者であり、専門家でもある存在として、人々の活動を総合する人として必要とされる場所で活動していきたいと思っています。

必要に応じて資料をA4判1ページまで添付できます。